

令和3年度 事業報告書

令和3年4月 1日から

令和4年3月31日まで

公益財団法人日本レスリング協会

目 次

I. 事業の状況

1. 選手の育成・強化を図る事業

1. 国際大会への選手派遣	
【シニア選手団派遣事業】	2
【ジュニア・カデット選手団派遣事業】	3
【ベテランズ大会及び格闘競技大会派遣事業】	3
2. 国際事業の実施	3
3. 国内強化合宿	3
4. ジュニア・カデット選手強化合宿	5
5. 競技力向上事業におけるナショナルコーチ等の配置	5
6. JOCスポーツ指導者海外研修の実施	5
7. JOCエリートアカデミー／レスリング	5

2. レスリングの普及・発展のための事業

1. 協会主催大会の開催	5
2. 国際交流の実施（ジュニア・カデット等）	6
3. 指導者講習会	6
4. ホームページ等による主要大会動画の充実	6
5. 東京オリンピック大会レスリング競技支援	7
6. スポーツ医科学情報の提供	7

3. その他協会の目的を達成する事業

1. アンチ・ドーピング事業の推進	7
2. 審判講習会の開催	8

II. 処務の概要

1. ガバナンス・コンプライアンス向上

1. コーチ謝金等の補助金寄付問題	8
2. スポーツ団体ガバナンスコード適合性審査	9

2. 諸会議

1. 理事会の開催	9
2. 評議員会の開催	11
3. 全国連絡会の開催	12

3. 役員等

理事・監事、評議員	12
-----------	----

※ 巻末 / 理事・監事、評議員名簿(令和4年3月31日現在)

I. 事業の状況

1. 選手の育成・強化を図る事業

1. 国際大会への選手派遣

前年度から引き続き新型コロナウイルス禍の影響及び海外での新型コロナパンデミックにより海外への派遣は、東京オリンピック関連の大会しか参加出来ず、大部分が大会開催中止又は派遣中止となった。

なお、派遣のうち役員数は、コーチ・トレーナー・支援スタッフ・帯同審判等の人員数を表示した。

【シニア選手団派遣事業】

1) 東京オリンピック大会レスリング競技

期 間：令和3年8月1日～7日

場 所：千葉・幕張メッセ

派 遣：役員22名、フリースタイル4名、グレコローマンスタイル2名、女子フリースタイル6名

2) 東京オリンピック大会レスリング競技世界最終予選

期 間：令和3年5月1日～11日

場 所：ブルガリア・ソフィア

派 遣：役員17名、フリースタイル6名、グレコローマンスタイル7名

東京オリンピック大会レスリング競技世界最終予選帰国後合宿（新型コロナウイルス感染症対策）

期 間：令和3年5月9日～26日

場 所：味の素ナショナルトレーニングセンター、ザンパインプリンスホテル、日本体育大学、青葉台フォーラム、ホテル日航成田

派 遣：役員11名、フリースタイル4名、グレコローマンスタイル7名

3) 東京オリンピック大会レスリング競技アジア予選

期 間：令和3年4月2日～14日

場 所：カザフスタン・アルマトイ

派 遣：役員23名、フリースタイル7名、グレコローマンスタイル8名、女子フリースタイル1名

東京オリンピック大会レスリング競技アジア予選帰国後合宿（新型コロナウイルス感染症対策）

期 間：令和3年4月13日～29日

場 所：和光市、横浜市、味の素ナショナルトレーニングセンター

派 遣：役員10名、フリースタイル7名、グレコローマンスタイル8名、女子フリースタイル1名

4) 2021年シニア世界選手権大会

期 間：令和3年9月27日～10月27日（帰国後2週間の待機を含む。）

場 所：ノルウエー・オスロ、千葉県・成田市

派 遣：役員17名、フリースタイル10名、グレコローマンスタイル10名、女子フリースタイル10名

5) 2021年シニアアジア選手権大会

期 間：令和3年4月3日～13日

場 所：カザフスタン・アルマトイ

派 遣：役員15名、フリースタイル10名、グレコローマンスタイル10名、女子フリースタイル10名（女子は、新型コロナ感染の可能性があったため、直前に派遣中止）

2021年シニアアジア選手権大会帰国後合宿（新型コロナウイルス感染症対策）

期 間：令和3年4月16日～5月6日

場 所：味の素ナショナルトレーニングセンター

派 遣：役員10名、フリースタイル10名、グレコローマンスタイル10名、

6) U23世界選手権（中止）

期 間：令和3年11月1日～7日

場 所：セルビア・ベオグラード

7) その他の国際大会

① ランキング大会（ピトラシンスキ国際大会）

期 間：令和3年6月9日～15日

場 所：ポーランド・ワルシャワ

派 遣：役員2名、グレコローマンスタイル1名

【ジュニア・カデット選手団派遣事業】

ジュニア・カデットの世界及びアジア選手権大会並びにU15アジア選手権大会は、中止となった。

【ベテランズ及び格闘競技大会派遣事業】

全面的に中止となった。

2. **国際事業の実施**

東京オリンピック大会レスリング競技については、新型コロナ対策のため無観客で、かつ選手は、選手村等と大会会場への移動のみとする「バブル方式」であった。

出場選手は、12名であり、成績は下表のとおりであった。

区 分	階級Kg	選手名	成績	区分	階級Kg	選手名	成績
男子グレコローマン	60	文田健一郎	銀メダル	女子フリースタイル	50	須崎優衣	金メダル
	77	屋比久翔平	銅メダル		53	向田真優	金メダル
男子フリースタイル	57	高橋侑希	8位		57	川井梨紗子	金メダル
	65	乙黒拓斗	金メダル		62	川井友香子	金メダル
	74	乙黒圭祐	14位		68	土性沙羅	5位
	86	高谷惣亮	10位		76	皆川博恵	5位

3. **国内強化合宿**

ナショナルチーム強化合宿

コロナ禍による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等が発令されていたが、対策を講じて年度当初から必要とされるオリンピック出場枠確保のための合宿やオリンピック大会でのメダル獲得のため人員を制限した選手強化合宿を実施した。

日本協会としては、前年に引き続き、COVID-19対策トレーニングガイドラインを行動基準とすること及び感染拡大予防における国内競技大会開催時の注意事項を守り、大会を運営することを指導した。なお、味の素ナショナルトレーニングセンターの使用にあたっては、合宿前のPCR検査が義務づけられた。

下表の左の○数字は、実行された回数

事業名	期 間	場 所	人数
①男子フリー1次合宿	2021年4月1日～4月9日	味の素ナショナルトレーニングセンター	38
②男子フリー2次合宿	〃 4月30日～5月1日	味の素ナショナルトレーニングセンター	11
③男子フリー5次合宿	〃 6月21日～6月27日	味の素ナショナルトレーニングセンター	3
④男子フリー6次合宿	〃 6月24日～6月30日	味の素ナショナルトレーニングセンター	5
⑤オリンピック直前合宿	〃 7月5日～8月9日	味の素ナショナルトレーニングセンター及び幕張	26
⑥男子フリー8次合宿	〃 9月21日～9月28日	味の素ナショナルトレーニングセンター	30
⑦男子フリー17次合宿	2022年3月16日～3月22日	味の素ナショナルトレーニングセンター	25
①男子グレコ1次合宿	2021年4月1日～4月7日	味の素ナショナルトレーニングセンター	31
②男子グレコ2次合宿	〃 4月30日～5月4日	味の素ナショナルトレーニングセンター	16
③男子グレコ3次合宿	〃 6月1日～6月18日	日本体育大学	9
④男子グレコ全日本合宿	〃 6月4日～6月9日	味の素ナショナルトレーニングセンター	6
⑤男子グレコ4次合宿	〃 7月1日～7月9日	日本体育大学	15
⑥オリンピック直前合宿	〃 7月12日～8月4日	味の素ナショナルトレーニングセンター及び幕張	17
⑦男子グレコ7次合宿	〃 9月1日～9月9日	日本体育大学	4
⑧男子グレコ8次合宿	〃 9月24日～10月4日	味の素ナショナルトレーニングセンター	28
⑨男子グレコ11次合宿	2022年3月10日～3月16日	味の素ナショナルトレーニングセンター	29
①女子フリー1次合宿	2021年5月6日～5月12日	味の素ナショナルトレーニングセンター	23
②女子全日本合宿	〃 5月17日～5月25日	至学館大学	6
③女子フリー2次合宿	〃 6月16日～6月23日	味の素ナショナルトレーニングセンター	29
④オリンピック直前合宿	〃 7月1日～8月9日	味の素ナショナルトレーニングセンター及び幕張	41
⑤女子フリー6次合宿	〃 9月24日～9月30日	味の素ナショナルトレーニングセンター	27
⑥女子フリー12次合宿	2022年3月14日～3月20日	味の素ナショナルトレーニングセンター	30
女子フリー長期個別合宿	2021年4月1日～11月30日	味の素ナショナルトレーニングセンター	1

4. ジュニア・カデット選手強化合宿事業

事業名	期間	場所	人数
2021 エリートキャンプ	2021年12月4日～12月6日	京都府・ホテル京都エミナース	35
2021 スプリングキャンプ	2022年3月19日～3月22日	神奈川県・小田原市	28

5. 競技力向上事業におけるナショナルコーチ等の配置

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|
| ① ナショナルコーチ | 西口茂樹、赤石光生 |
| ② アシスタントナショナルコーチ（3名） | 笹本睦、前田翔吾、藤川健治 |
| ③ 専任コーチングディレクターJOCエリートアカデミーコーチ | 江藤正基 |
| ④ 専任コーチングディレクタージュニア強化コーチ（3名） | 馬淵賢司、森下浩、吉村祥子 |
| ⑤ 専任情報・科学スタッフ | 斎藤修 |
| ⑥ NTC専任コーチ | 有延大輝 |
| ⑦ 特任コーチングスタッフ（7名） | 松本慎吾、井上謙二、志土地翔大
金浜良、栄希和、栄和人、今村浩之 |

6. JOCスポーツ指導者海外研修事業の実施

若手指導者をスポーツ指導者として海外に研修派遣する事業で、自衛隊体育学校所属の湯元進一を2021年8月末から2年間の予定で、ロシアに派遣していたが、ロシア・ウクライナ情勢に鑑み予定を早めて、2022年4月に帰国した。

7. JOCエリートアカデミー／レスリング

引き続きNTC専任コーチ1名、ジュニア強化コーチ（女子担当）1名を設置した。
エリートアカデミー生徒は、男子5名・女子3名の計8名であった。

2. レスリングの普及・発展のための事業

コロナ禍の緊急事態宣言発令やまん延防止等重点措置等のため、大半の大会は中止になってしまった。大会開催のため、協会としてスポーツ医科学委員会・総務委員会連名でCOVID-19感染拡大予防における国内競技大会開催時の注意事項のガイドラインを制定し、大会時の行動基準を設け、このガイドラインに添って大会を開催するよう指導した。

1. 協会主催大会の開催

1) 天皇杯全日本レスリング選手権大会

令和3年12月16日～19日 / 東京都・駒沢オリンピック公園総合運動場体育館

2) 明治杯全日本選抜レスリング選手権大会

令和3年5月27日～30日 / 東京都・駒沢オリンピック公園総合運動場体育館

3) 「JOCジュニアオリンピック大会」令和3年度ジュニアクィーンズカップレスリング選手権大会

令和3年4月10・11日 / 東京都・駒沢オリンピック公園総合運動場体育館

4) 国民体育大会（秋季大会）レスリング競技(中止)

令和3年9月11日～9月14日 / 三重県・津市サオリーナ

5) 内閣総理大臣杯 全日本大学レスリング選手権大会

令和3年11月13・14日 / 栃木県・足利市民体育館

6) JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニアレスリング選手権大会(中止)

令和3年4月24・25日 / 神奈川県・横浜武道館

7) 風間杯全国高等学校選抜レスリング大会

令和4年3月27日～29日 / 新潟県・新潟東総合スポーツセンター

8) 全国高校生グレコローマンスタイルレスリング選手権大会

令和3年7月17日～19日 / 滋賀県・大津市ウカルちゃんアリーナ

9) 沼尻直杯全国中学生レスリング選手権大会(中止)

令和3年6月12・13日 / 茨城県・水戸市

10) 全国少年少女レスリング選手権大会

令和3年11月5日～7日 / 熊本県・熊本市総合体育館

11) ドン・キホーテ杯ビーチレスリング沖縄大会（中止）

令和3年10月24日 / 沖縄県・那覇市

2. 国際交流の実施（ジュニア・カデット等）

コロナ禍のため全面的に中止であった。

3. 指導者講習会

コロナ禍のため中止した。

4. ホームページ・フェイスブックによる主要大会動画の充実

開催された天皇杯、明治杯、ジュニアクィーンズカップ、高校選抜大会等の映像を、ホームページ上で放映するとともに協会主催の大会写真、世界の大会映像等や選手を身近に感じてもらうためのオフショット写真等を引き続きフェイスブックで配信した。

5. 東京オリンピック大会レスリング競技支援

東京オリンピック組織委員会に、レスリング競技における支援要員として、

①スポーツマネージャーとして「藤森安一」

②IFサービススーパーバイザーとして「武田明子」の2名を協会から推薦した。

また協会事務員や審判員を競技役員スタッフとして、支援業務に当たらせ競技の円滑進行を図った。

6. スポーツ医科学情報の提供

昨年まで、紙で製本していたスポーツ医科学情報を、協会のホームページ上に「デジタル版レスリングブック」としてデジタル掲示をした。

項目としては、「レスリング・コンデショニング・減量・トレーニング・栄養・けが・こころとからだケア」であり、コロナ禍のなかであっても医科学情報が手頃に活用されるよう、情報取得の利便性を図った。

3. その他協会の目的を達成する事業

1. アンチ・ドーピング事業の推進

アンチ・ドーピング検査の独立制を保つため、一般社団法人日本スポーツフェアネス推進機構が、検査の指針と規模を定め、JADAが検査を実施する態勢に移行したため、協会は、日本スポーツフェアネス推進機構に検査のための加盟団体分担金を支払うとともにJADAにも団体として加盟することとなった。なおドーピング検査は、下記大会で実施された。また協会としてもアンチ・ドーピング研修会を実施した。

事業名	期日等
天皇杯全日本レスリング選手権大会	令和3年12月16日～19日
明治杯全日本選抜レスリング選手権大会	令和3年5月27日～30日
アンチ・ドーピング研修会	ナショナルチーム強化合宿にて実施
eラーニング	JADA登録選手受講

2. 審判講習会の開催

コロナ禍のため大会中止及び移動制限があり、例年並みの審判講習会を開催することが出来なかった。

区分	開催要領等	合格者数
A級審判	審判委員会による審判講習会	6
B級審判	各種大会時における審判委員会による審判講習会	20
C級審判	各都道府県レスリング協会による審判講習会	2

Ⅱ. 処務の概要

1. ガバナンス・コンプライアンス向上

1. コーチ謝金等の補助金寄付問題

(1) 経緯

平成2年4月11日付けで外部から通報があり、日本オリンピック委員会から事情調査依頼があった「コーチ謝金等の補助金を個人が強化委員会に寄付していた問題」について、令和2年8月4日以降JOCと連携し、逐次に調査報告書を提出していたが、その後スポーツ庁及びJSCからの追加質問等に応じ、令和3年2月9日に追加報告書を提出した。

更に第三者による追加調査が必要とされたため、JOCの弁護士等の援助を得て追加調査を実施し、令和3年5月17日に再度追加報告を実施した。

(2) 調査結果により判明した補助金寄付の問題点

- ① 専任コーチや強化スタッフの選任は、事実上一人に任されており、選任案は、修正審議されぬまま理事会で承認されていた。
- ② 謝金等の寄附の要請は、一部の者にとって①の理由からコーチ候補に選任されない場合があると見て寄附の要請は、強制的であると感じられていた。
- ③ 寄付金の使途は、領収書がないため、支出内容が厳密に確定できなかったが、その使途の大部分は、準公的なものが大部分であり、委員会としてではなくレスリング協会として支出すべきものもあった。
- ④ 寄付の原資は、コーチへの謝金等の補助金は、公金であること
- ⑤ 平成24年のJOCの第三者委員会への協会事務局からの回答「直接又は間接的に協会として寄付を受けたことはない。」は、不適切であった。

(4) JOCの処分

補助金・助成金の自主返納の実施状況及び再発防止に向けた今後の改善策について、JOCへの報告を求める「勧告処分」とする。

(3) 協会としての責任、勧告処分対応

- ① 組織として公金の受給要件や手続きに精通した上で、適切なガバナンス体制を構築していなかった。協会の責任の取り方の一つとして、寄付要請の助成金及び謝金を返還すべきと報告したことから、令和3年7月にJOCに対し約1400万円、JSCに対し約607万円を自主的に返還した。

② 再発防止策の策定

ア 公金の受給要件や受給手続きの正しく理解するための、制度の構築

合宿時における教育体制の徹底

イ 協会管理体制の構築

上部団体へ報告した事項について、1ヶ月に一度、事務局・強化委員会から専務理事に報告し、必要があれば理事会に報告するとした「事務取扱規程」を制定した。

2. スポーツ団体ガバナンスコード適合性審査

令和元年度にスポーツ庁がガバナンスコードを策定したことに基づき、令和3年度に適合性審査が当協会に対して実施された、事前にスポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>適合性検査の自己説明・公表実施状況を令和3年10月30日に日本スポーツ協会及びJOCに報告した結果、令和4年2月10日に審査状況が通知された、結果は、好事例「該当なし」要改善事項「該当なし」であった。

2. 諸会議について

1. 理事会の開催

- ①臨時理事会 日 時：令和3年5月17日(月) 17時00分～
場 所：ジャパンスポーツオリンピックスクエア 会議室 オンライン併用
議 題：1) 寄付金に関する最終報告の提出について
2) 東京オリンピック代表選手及びプレーオフについて
3) その他
- ②第1回理事会 日 時：令和3年6月10日(木) 17時00分～
場 所：ジャパンスポーツオリンピックスクエア 会議室 オンライン併用
議 題：1) 令和2年度事業報告(案)について
2) 令和2年度決算報告(案)について
3) 役員(理事・評議員)選出について
4) 協会内規の一部改正について
5) 事務取扱規程について
6) 倫理委員会(公益通報調査報告)について
7) 助成金問題に関する返還金について
8) 東京オリ・パラ開催状況(報告)について
9) 評議員会招集及び議案について
10) 事務局長の選出について
11) その他
(1) 東京オリンピック代表選手プレーオフ(F-57Kg級)について
(2) 東京オリンピック観戦チケットについて
(3) 東京2020Let's55について
(4) 6月以降の事業計画について
- ③臨時理事会 日 時：令和3年6月26日(土) 15時00分～
場 所：明治記念館(若竹の間)
議 題：1) 代表理事の選出について
2) 役員(評議員)の選出について
3) 専門委員会委員長の選出について
4) その他
(1) 公益通報窓口への通報について
(2) 謝金・助成金問題について
(3) 令和3年度の事業計画について

- ④臨時理事会 日 時：令和3年10月1日（金） 18時00分～
場 所：ジャパンスポーツオリンピックスクエア 3階 会議室9
議 題：1) 事務局に提出されている辞任届について
(1) 福田富昭理事
(2) 江藤正基専務理事代行
(3) 福田富昭理事の処遇について
(4) 朝倉利夫男子アスリート委員会委員長
2) 2024年に向けた強化体制について
3) 東京オリンピック競技大会の報告について
4) 東京オリンピックメダリストへの報奨報告について
5) 2021年シニア世界選手権大会の日本代表選手団について
6) ガバナンスコードへの対応について
(1) 中長期計画の策定について
(2) アスリート委員会の活動について
(3) 都道府県協会等におけるガバナンスコード対応について
(4) スポーツ団体ガバナンスコード適合性審査予備調査チームのヒアリングについて
7) 日本スポーツ協会からの事実確認依頼事項について
(1) 事案1について
(2) 事案2について
8) 事務局規程に基づく提出文書報告について
9) その他

- ⑤臨時理事会 日 時：令和3年10月27日(水) 18時30分～
場 所：ジャパンスポーツオリンピックスクエア 3階 会議室
Z o o m使用によるWEB会議
議 題：1) 代表選手選考規程について
2) 国際大会への派遣について
3) 国際大会及び海外遠征の参加に伴う経費負担基準について
4) 11月以降の事業計画について
5) 2020年JOC杯全日本ジュニア選手権大会参加基準について
6) 専門委員会から
アンチ・ドーピング委員会提案
7) その他

- ⑥臨時理事会 日 時：令和3年12月19日(日) 17時00分～
場 所：駒沢体育館 南会議室
議 題：1) 天皇杯受賞者及び各階級優勝者について
2) 2024年パリ・オリンピックに向けた強化体制について
3) 第19回アジア大会（2022／杭州）の代表選考について
4) JOCオリンピック強化指定選手及び強化スタッフの推薦について
5) JOCエリートアカデミー第15期生候補者推薦について
6) UWW委員会委員の推薦について
7) 会長交代に伴う規則（規程）の修正について
8) アンチ・ドーピング委員会の内規への明記について
9) アンチ・ドーピング規程の更新について
10) アスリート委員会委員について

11) その他

- (1) UWW理事への推薦について
- (2) 中長期計画策定の進捗状況について
- (3) 令和3年度定例理事会及び評議員会の開催日程について

⑦臨時理事会 日時：令和4年3月4日(金) 18時00分～

場所：ジャパンスポーツオリンピックスクエア
Zoom併用によるWEB会議

- 議題：1) 職務執行状況報告について
- 2) 令和4年度事業計画について
 - 3) 令和4年度収支予算及び特定費用準備資金計画項目並びに資金調達及び設備投資の見込みについて
 - 4) 強化戦略プランについて
 - 5) 令和4年度における強化指定選手の選考基準について
 - 6) 令和4年度における国際大会代表選考基準について
 - 7) 国際大会及び海外遠征の参加に伴う経費負担基準について
 - 8) 第19回アジア競技大会(2020/杭州)レスリング日本代表候補選手団員について
 - 9) 中長期計画について
 - 10) ガバナンスコード適合性審査結果報告について
 - 11) JSCからの改善方策提出への回答について
 - 12) 登録規程の改正について
 - 13) 競技者規程の改正について
 - 14) 専門委員会委員長について
 - 15) 評議員会の日程と議題について
 - 16) その他

2. 評議員会の開催

第1回評議員会 日時：令和3年6月26日(土) 13時00分～

場所：明治記念館(若竹の間)

- 議題：1) 令和2年度事業報告(案)について
- 2) 令和2年度決算報告(案)について
 - 3) 役員(理事・評議員)選出について
 - 4) 協会内規の一部改正について
 - 5) 事務取扱規程について
 - 6) 倫理委員会(公益通報調査報告)について
 - 7) 助成金問題に関する返還金について
 - 8) 東京オリ・パラ開催状況(報告)について
 - 9) その他
 - (1) 東京オリンピック観戦チケットについて
 - (2) 事務局長の選出について

臨時評議員会 日時：令和3年10月16日(土) 13時00分～

場所：ジャパンスポーツオリンピックスクエア14階 岸メモリアルホール1

- 議題：1) 代表理事を含む役員交代について
- 2) 理事の辞職および選任について

- 3) 各報告事項について
 - (1) 内規の一部改正について
 - (2) 2024年パリ・オリンピックに向けた強化体制について
 - (3) 東京オリンピック競技大会について
 - (4) 東京オリンピックメダリストへの報奨について
 - (5) 2021年シニア世界選手権大会について
 - (6) ガバナンスコードへの対応について
 - (7) 日本スポーツ協会からの事実確認について
 - (8) 事務局規程に基づく提出文書について

第2回評議員会	日時：令和4年3月19日（土）13時00分～
日	所；味の素ナショナルトレーニングセンター 大研修室
場	題：Ⅰ 決議事項
議	<ol style="list-style-type: none">(1) 令和4年度事業計画について(2) 令和4年度収支予算及び特定費用準備資金計画項目並びに資金調達及び設備投資の見込みについて
	Ⅱ 報告事項
	<ol style="list-style-type: none">(1) 強化戦略プランについて(2) 令和4年度における強化指定選手の選考基準について(3) 令和4年度における国際大会代表選手選考基準について(4) 国際大会及び海外遠征の参加に伴う経費負担基準について(5) 第19回アジア競技会（2020／杭州）レスリング日本代表候補選手団について(6) 中長期計画について(7) ガバナンスコード適合性審査結果報告について(8) JSCからの改善方策提出への回答について(9) 登録規程の改正について(10) 競技者規程の改正について(11) 専門委員会委員長について

3. 全国連絡会の開催

国民体育大会中止に伴い未開催であった。

3. 役員について

理事・監事、評議員：令和元年度の理事・監事、評議員は、巻末資料のとおりである。

公益財団法人日本レスリング協会の理事監事名簿

(期間：令和3年10月～令和5年6月定時評議員会の終結日まで)

No	役 職	氏 名	摘 要	No	役 職	氏 名	摘 要
1	北海道・東北	橋 場 保 人		16	学識経験者	中 嶋 耕 平	
2	関 東	栗 田 敦		17	学識経験者	谷 岡 郁 子	
3	東 京	古 里 光 弘		18	学識経験者	中 村 博	
4	東海・北信越	佐々木 禎		19	役員候補者委員会	藤 沢 信 雄	
5	近 畿	芦 田 隆 治		20	役員候補者委員会	馳 浩	
6	中国・四国	眞 鍋 賢 治		21	役員候補者委員会	末 柄 勝	
7	九州・沖縄	淵ノ上 文 也		22	役員候補者委員会	斎 藤 修	
8	社会人	土 方 政 和		23	役員候補者委員会	西 口 茂 樹	
9	学 生	福 田 耕 治		24	役員候補者委員会	江 藤 正 基	
10	高体連	千 葉 裕 司		25	役員候補者委員会	多 賀 恒 雄	
11	中 学	丹 下 一		26	役員候補者委員会	藤 森 安 一	
12	少年少女	梅 原 龍 一		27	役員候補者委員会	浅 田 久 美	
13	女 子	富 山 英 明		28	役員候補者委員会	吉 村 祥 子	
14	マスター*	岡 田 英 雅		29	役員候補者委員会	小 原 日 登 美	
15	格 闘	早 田 恭 子		1	監 事	丸 山 充 信	
				2	監 事	平 野 萬 司	

公益財団法人日本レスリング協会評議員名簿

令和3年6月～令和7年6月定時評議員会の終結日まで

No	区 分	氏 名	役 職	備 考
1	ブ 口 ッ ク 評 議 員	北海道	平 澤 光 志	北海道協会理事長
2		東 北	上 野 三 郎	岩手県協会会長
3		北信越	池 田 進	新潟県協会会長
4		関 東	海老澤 正道	茨城県協会理事長
5		東 京	工 藤 章	東京都協会副会長
6		東 海	浦 田 安	三重県協会副理事長
7		近 畿	田 中 秀 人	滋賀県協会理事
8		中 国	守 田 武 史	山口県協会会長
9		四 国	山 田 円 博	香川県協会理事長
10		九 州	矢 山 裕 明	熊本県協会理事
11	連 盟 評 議 員	社会人	本田原 明	社会人連盟理事
12		全日本学生	市 橋 敏 之	全日本学生連盟事務局長
13		高体連	真 田 栄 作	高体連レス専門部事務局長
14		全国中学	矢 後 眞 直	中学連盟副会長
15		少年少女	押 田 博 之	少年少女連盟副理事長
16		全日本女子	鈴 木 光	全日本女子連盟理事長
17		マスターズ	田 村 知 一	マスターズ連盟副会長
18		格闘競技	田 中 弘 济	日本格闘技連盟理事
19	外部評議員	金 森 仁	金森仁法律事務所(弁護士)	
20		清 水 修	MASSパートナーズ法律事務所 (弁護士)	
21		猪 崎 弥 生	放送大学東京足立学習センター 所長(特任教授)	
22	理事会推薦評議員	磯 貝 頼 秀	千葉県協会会長	
23		朝 倉 利 夫	東日本学生連盟会長	
24		田 原 淳 子	国士舘大学体育学部(教授)	
25		村 上 富 栄	村上クリニック(医師)	